

はまなす句会（十月十七日）（百三十八回）

誰まつと言ふこともなし木守柿

圭二

独り居の夜のしじまや柿を剥く

菊枝

吊し柿日照り続きに甘み増す

久子

父と子の螺旋の長さ柿を剥く

玲子

柿たわわ熟るるを待たず鳥さわぐ

則子

